

水道管耐震化工事に伴う水道水にごり発生のお知らせ

広陵町では災害に強いサービスを提供し続けるため、老朽化した水道管を耐震性のある水道管に入替をする工事を計画的に進めております。次のとおり通水作業による切替をいたしますので、大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

にごりの発生する日時

平成31年2月14日(木) 午後11時00分 ~
平成31年2月15日(金) 午前10時頃にかけて

対象地域

**馬見北1丁目~5丁目、馬見中1丁目~2丁目、
馬見南1丁目、馬見南4丁目~6丁目、
寺戸、南、萱野、的場、齊音寺、赤部、大垣内、疋相**

- 上記時間内は**水道水のごり**が発生します。
- 切替の状況によりにごりの時間が長引く場合があります。
- にごり水解消の状況については広陵町HPでご確認ください。
- 2月15日(金)午前5時から上記対象地域の公民館・集会所に給水タンクを準備しております。また真美ヶ丘配水場でも給水可能です。にごり水発生時にご使用ください。
- ※寺戸地区については、八坂神社に給水タンクを準備しております。

お願い

- にごり水に備えて、**水は事前に汲み置き**しておいてください。
- にごりの時間帯は水道の使用は控えてください。
- にごりの時間帯後、初めて水をお使いになるときは、トイレ・給湯器・浄水器以外の蛇口でにごりがないか確認していただき、にごりがなければ安心してご使用いただけます。
- 水が白くにごっている場合は、コップなどに汲み置きし、しばらくすると透明に澄んできます。これは水に空気が混じったもので、ご使用には問題ありません。



水道水にごりの原因

水道工事によるバルブ操作や火災により消火栓を使用した場合、水道管内の水が流れる速さや方向が変わるため、水道管内に長年蓄積された錆びた鉄分がはく離して赤水となり、皆様のご家庭から出る場合があります。

赤水が発生した時は、道路内にある消火栓からにごり水を強制的に排出して、きれいな水に入れ替えます。

赤い水が出た時

○安全性

赤水の原因は鉄分であり、鉄分は人体にとっては必要な成分であるため、鉄分を含んだ水を飲んでも人体への吸収率は低く、大部分がそのまま体から排出されます。これによる健康被害などの心配はありません。

○対応

赤水が発生した場合、飲用や洗濯は控えてください。蛇口からしばらく水を流して無色透明なことを確認してから使用してください。流した水はバケツ等に溜めて、樹木や庭の散水等に使用してください。

白い水が出た時

○安全性

白い水の原因は水に溶け込んだ空気（窒素、酸素、二酸化炭素等）であり、しばらく放置すると透明になるため、飲用しても健康に影響はありません。

○対応

無害であり、自然消滅するため、対応の必要はありません

〈お問い合わせ〉

広陵町事業部 上下水道施設課

TEL：0745-55-2234